

第14回「日本で乾杯推進会議」総会・フォーラム・懇親パーティ



# 10月1日・日本酒の日に、全国一斉乾杯

秋の夜空に「日本酒で乾杯」の歓声。シンガポールとネットで国際親善の乾杯



全国一斉乾杯を行う、100人委員会の石毛代表(マイク後)と100人委員。  
ステージ下左は2017ミス日本酒の皆さん、右は(一社)江戸消防記念会の皆さん



〈日本酒と日本文化の復権〉を旨として活動続ける日本酒で乾杯推進会議の第14回総会・フォーラム&懇親パーティが、日本酒の日・10月1日の午後、東京元赤坂の明治記念館で開催されました。懇親パーティでは、午後6時を期して各地の日本酒ファンとともに全国一斉乾杯を行ったほか、シンガポールのファンとも、ネットを通じて国際親善の乾杯。秋の夜空に「日本酒で乾杯」の歓声が響き渡りました。



■ 第2部のフォーラムでは、3人のパネリストが「旅と酒」をテーマに鼎談(詳細は本文で)。



■ 懇親パーティのひとつコマ。日曜開催となった今回も、例年と変わらぬ熱気いっぱいの会場風景。

## 今後の運動拡大へ、結束固めと懇親の一日



**日本酒そして日本文化の素晴らしさを見直すために、日本酒で乾杯！** 2004年の日本酒の日に発足して以来、まる13年にわたり「日本酒で乾杯」の普及定着へ多彩な活動を繰り広げてきた「日本酒で乾杯推進会議」。総会・フォーラム&懇親パーティは、その成果を確認するとともに、今後の運動拡大への士気を高めるために毎年開催されるもので、14回目を迎えた今回は、各界有識者による中核組織「100人委員会」の委員や推進会議の会員、一般の日本酒ファン、そして20代の参加枠(新設)で募集した若者たちなど、およそ500人が結集。「旅と酒～日本のかたち、日本のところ～」をテーマとした3部構成のプログラム、さらには全国一斉乾杯の実施などを通じて、結束固めと懇親の一日を楽しみました。



■ 午後2時30分、100人委員の阪田美枝さん(『日本の酒造り唄』著者)による開会宣言で、第14回総会の幕開け。「私たちは日本酒を愛します」という誓いの言葉を(右)、出席者全員で唱和しました。

### 「日本酒で乾杯推進会議」総会 開会宣言

私たちは日本を愛します。  
日本文化を愛します。そして日本酒を愛します。  
「日本に乾杯」。そのはじめに、「日本酒で乾杯」  
私たちは、日本文化のルネサンスをめざして  
ここに『第14回日本酒で乾杯推進会議』総会の  
開会を宣言いたします。



■ 開会挨拶を行った100人委員会の石毛代表は、「日本酒は、日本人の生活、年中行事と深く関わってきた。日本酒を飲み親しむことは、日本文化の再認識につながる」と、運動の主旨を説明しました。



■ 活動報告を行った日本酒で乾杯推進会議運営委員会の西村委員長は、「推進会議の会員数は3万9千人を超え着実に増加している。自治体における日本酒の乾杯条例の制定数も115件に達した」と、これまでの成果を報告しました。



■ 恒例となった「日本酒で乾杯デジタルフォトコンテスト」の表彰式。今回(第7回)は応募総数162点の中から、井上雅己(静岡県)さんの作品「きつねの嫁入り」(写真右)が大賞を受賞。石毛代表から表彰状と副賞の日本酒が手渡されました。



「きつねの嫁入り」は2点1組の作品

## 乾杯 お酒は土地の滴。「旅と酒」テーマに自在鼎談



第2部のフォーラムでは、100委員会の石毛代表と、民俗学者の神崎宣武氏、エッセイストの平松洋子氏が、「旅と酒」をめぐって鼎談。「お酒はその土地の滴」(平松氏)といった印象的な言葉も含めて、終始自在なトークで参加者を楽しませました。また、トークの後には、一般社団法人江戸消防記念会の皆さんが、鮮やかな纏さばきとともに、伝統の木遣り唄を披露。参加者は、江戸町火消の粋を今に伝える見事な技と節回しに、改めて日本文化の奥深さを感じ取った様子でした。



**神崎氏**「昔から旅に酒は付きもの。広重の東海道五十三次にも酒の看板が絵に描かれている。現代の旅と決定的に違うのは、昔は徒歩だったこと。歩き疲れて、宿場宿場で飲む酒に、旅の情緒を感じたのだと思う」



**平松氏**「お酒を飲む時のゆったりした時間の流れが旅にふさわしい。私にとって、その土地のお酒こそ旅のシンボル。酒の中には、その土地の文化があり人柄がある。お酒とは、土地から生まれた滴のようなものだ」



**石毛氏**「旅は非日常の時間。旅に出ると、日常と違うことがたくさんあって、私は新幹線で昼酒を飲んだりする。それと、初めて行く土地では必ずその居酒屋で地酒と郷土料理を味わう。どんなに小さな町でも、結構地酒が残っている」



◀ (一社)江戸消防記念会の皆さんによる木遣り唄の実演(右)。纏を振る姿も、イナセです(左)。

## 乾杯 3回目の「全国一斉乾杯」、参加者7万2千人



5、4、3、2、1、日本酒でカンパイ!

お待ちかねの懇親パーティーは午後5時40分から。会場の模様がユーチューブで全国にライブ中継される中、まずは江戸火消しの木遣り唄に合わせて、100人委員会の委員らが鏡開きを行った後、石毛代表の挨拶に続いて、いよいよカウントダウンのスタート。「3、2、1」の掛け声も高らかに、午後6時ジャスト、「日本酒でカンパイ」の大合唱が会場にわき上がりました。全国一斉乾杯の実施は今年で3回目。この日、国内外で乾杯に参加した人の数は約7万2千人に達し、ホームページやSNSなどを通じて、各地から乾杯フォトの投稿があいつぎました（抽選で101名に日本酒をプレゼント）。



投稿作品の一枚。この日、各地でこんな乾杯の風景が繰り返された。



■ 各地の日本酒と伝統料理を囲んで、歓談のひと時。



■ ニホンシュ、シュシュ。ダンスユニット「Q'ulle」の3人が、話題の日本酒ダンスを披露。



■ 需要開発委員会の若手蔵元に、日本酒マスコット・おちよくんも加わって、元気あふれる日本酒ダンス・オン・ステージ。



■ 午後7時半、シンガポールの会場をネットで結び、国際親善の乾杯（中央は七田需要開発委員長）。



■ パーティの締めくくりは、日本酒の発展を祈り「右肩上がりの乾杯三唱」。発声は篠原会長。



乾杯 日本酒で乾杯推進会議 2017.10.1 懇親パーティの景風



パーティの開幕を告げる鏡開き。日本酒で乾杯推進会議・100人委員とゲストが勢揃い



日本酒に、カンパイ！



乾杯

広がってますよ、日本酒の輪



エクセレント



素敵な会ね。料理もおいしい



日本酒で乾杯すれば、みーんな友だち



協賛出展団体のブースでは、日本酒にピッタリのおつまみをサービス。①全国かまぼこ連合会、②全日本漬物協同組合連合会、③全国珍味商工業協同組合連合会、④全国調理食品工業協同組合